

衣浦ヨットクラブ ポイントレースにおける新型コロナウイルス対策について

’20. 8/1
会長；大橋

レース参加者は以下の新型コロナウイルス対策事項遵守をお願いします。

(“JSAF セーリング競技大会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン”を参考に作成しました。)

1. レース参加者は以下の事項に該当する場合、自主的に参加を見合わせる。
 - 1-1 体調がよくない場合。(例:発熱・咳・咽頭痛、味覚や嗅覚の異常などの症状がある場合)
 - 1-2 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - 1-3 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

2. 艇長はレース参加者に対し、出艇前に以下の事項を確認し、問題がある場合は出艇中止もしくは該当者の参加を許可しない、等適切に対応する。
 - 2-1 体調がよくない場合。(例:発熱・咳・咽頭痛、味覚や嗅覚の異常などの症状がある場合)
 - 2-2 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - 2-3 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

3. レース参加者はレース中、レース前後において以下の事項を遵守しなければならない。
 - 3-1 ハーバーへの移動時は各艇に到着するまでマスクを着用すること。レース中もマスク着用を推奨するが、熱中症予防の観点も踏まえ、着用は各自の判断に任せる。
 - 3-2 周囲の人となるべく距離を確保し(できるだけ2 m以上)、対面を避け、会話は控えめにすること。
 - 3-3 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - 3-4 飲料の回し飲みはしないこと。
 - 3-5 ごみ処理は確実にすること。
 - 3-6 タオルの共用はしないこと。
 - 3-7 レース中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
 - 3-8 レース終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、艇長/オーナーを経由して会長/総務委員/事務局まで、速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
 - 3-9 レース前後のミーティングや懇親会等においても、三密(密閉・密集・密接)を避けること。

以上

参考；JSAFセーリング競技大会の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインから

(2) セーリング競技における感染リスクと注意事項

セーリングの競技中は、基本的に屋外で、しかも風の流れる海上で継続して帆走するため、選手に3つの密を作る可能性は他競技に比べると低い競技です。そのため、関係者への対策は、会場に到着まで、および陸上での対応が中心となりますが、一人乗りを除く多くの艇種で、飛沫感染防止のために必要な、乗員同士の2m以上の距離を保ち続けられないことを考えると、セーリング中も注意は必要です。